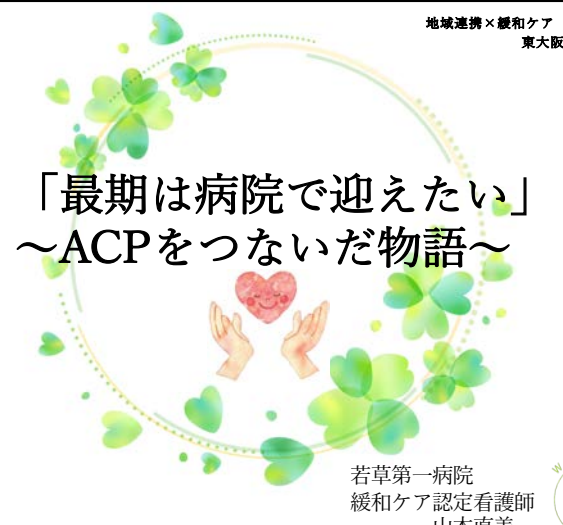


地域連携×緩和ケア
東大阪プロジェクト
2022.4.23

「最期は病院で迎えたい」
～ACPをつないだ物語～

若草第一病院
緩和ケア認定看護師
山本直美

WAKAKOUKAI



【事例紹介】



70代女性
化学療法中に夫他界にて独居
息子二人・息子家族との関係性良好

2019年：下行結腸癌・肝転移
腹腔鏡下結腸切除術施行

術後より化学療法施行
2021.10.26レゴラフェニブ単独療法中自宅で転倒
右ひじ・右大腿部骨折にて入院
骨折に対して手術不適応にて療養転院転院準備中

肝転移に伴う感染にてADL低下
病状急速に悪化しBSC

11月10日 面会制限

本人・息子へ別々に病状説明



本人の思い

息子に迷惑かけたくないので家には帰りたくない

この病院にいたいけど無理なのはわかってる
療養転院でいい

息子たちの思い

連れて帰ってあげたい週末なら何とかできる
家に帰ることは本人が納得しないと思う

医師の思い

今しか帰ることができない
自宅に帰らせてあげたい
息子の休日にあわせて退院目標にしたい

看護師の思い

骨折によるADL低下、独居であり自分で自分のことができない状況自宅に帰すことがベストなのか？
追い出す形になってしまわないか？
面会できないことで息子は本人の状態・介護等の必要な状況をどの程度理解しているか？

本人の帰りたくない
という言葉に隠された思い



11月16日

処置室でベットにて面会できる環境設定
本人・息子お互いの思いをつたえあった



11月20日

退院目標 在宅調整は進めた

11月18日

リハビリ中に理学療法士に

「帰ってみようかな」

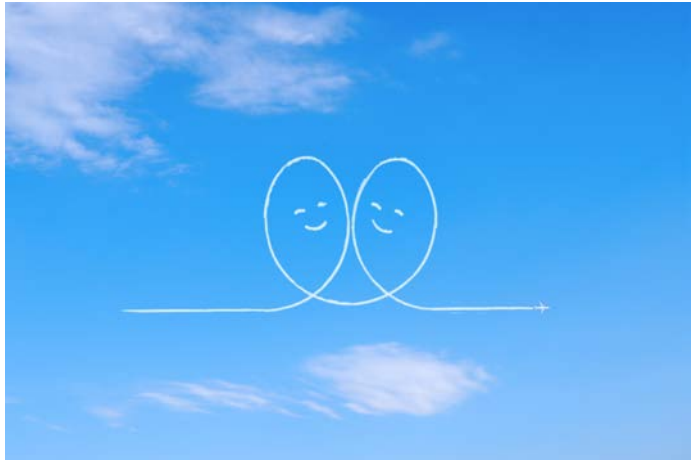


11月19日
 退院前カンファレンス・ACP含めた情報共有
 息子2人・ケアマネージャー・訪問看護師
 病院看護師・ソーシャルワーカー
 Pカード(当院独自の救急搬送受け入れシステム)発行



11月20日 **退院**

家族と過ごした時間



11月21日
 午後再入院

11月30日
 永眠



本人の最後の希望




黒いショールを羽織る

思いをつなぐために
繰り返し行うACP

本人の思いを聴く
日々気持ちは揺れ気持ちは変わって当たり前
患者が主人公・医療者は伴走車
最悪に備えて最善を考える
ゆだねることのできる自由についてともに考える
日々のなにげない会話から患者の思いをキャッチする
病院と在宅が患者情報を伝えあうことを日常にする



地域連携×緩和ケア
東大阪プロジェクト

思いがつながっていきますように

Thank you for your time and your attention

